



港区立中之町幼稚園 7月 園だより



中之町幼稚園ホームページ X

令和6年6月27日
港区立中之町幼稚園
園長 大橋 美都子

自然物との関わり

園長 大橋 美都子

暑い夏の訪れを感じる日が多くなりました。6月中でも熱中症指数が「危険」の日があったり、真夏日になる日があったりしました。熱中症予防をしながら毎日元気に遊んでいます。

さて、幼稚園の園庭が完成してから約一年。植物や生物が増え、まさしく幼児の「遊び場」になってきました。6月にはトカゲ、アオムシ、アリ、ミミズなど様々な生物を見つけたり、ダンゴムシの産卵や脱皮を見たり、飼育していたカブトムシやアゲハチョウ、ツマグロヒョウモンの蛹化、羽化に出合ったりしました。子どもたちは、自然物との関わりの中で、様々なことを学んでいます。まずは諸感覚が刺激され、癒しや感動を受けます。そして、植物や生物、砂や水など自然物の時間経過による変化を知り、その変化に応じたり、時には自分ではどうにもできない、思い通りにならないこともあることを知っていきます。また、命あるものに関わることでその不思議さや美しさ、愛おしさを感じたり、命の循環に気付いたりしていくのです。

もしかすると保護者の皆さんの中には、虫が苦手、見るのも無理！ 触るなんてとんでもない!! という方もいらっしゃることでしょう。苦手なものは苦手なのだから仕方ありませんよね。でも、排除はしないでほしいのです。子どもの興味や関心を尊重し、どのように関わり、どのようなことに気付き、何を感じているのか、ということを肯定的に共感的に見ていただきたいと思います。夏休みは、ぜひとも子どもたちが自然と対話している様子をゆっくり見ていただける機会になることを期待しています。

プール遊び、水遊びも始まりました。水遊びが安全に楽しく体験できるよう十分に配慮し、1学期のしめくくりを迎えたいと思います。

中之町幼稚園生まれの
虫たちがたくさんです。プール遊びに水遊び！ 組み立てプールは昨年より広いですよ！
楽しいことをたくさんして、水と仲良くなりましょう。